



## 特集

# 子どもの安全、 どう守る？

「平成 30 年警察白書」によると、子ども（13 歳未満）の犯罪被害件数の推移は、平成 13 年の 39,934 件をピークに平成 29 年は 15,721 件と減少傾向にあります。しかし、子どもを狙った痛ましい事件は後を絶たず、大きな社会問題となっています。

大切な子どもたちを犯罪の被害から守るためには、家庭や学校での防犯教育で子どもたち自身が高い防犯力を身に付けるほか、地域が連携し、犯罪が発生しにくい環境をつくることがとても大切です。

今号では、子どもたちの防犯意識を高めるために家庭で話し合ってもらいたいことや、地域の方に協力していただきたいことを掲載しています。春休みや 4 月の入学、進級などの前に家族で防犯について話し合いをしたり、これをきっかけに地域で生活する一員として防犯活動をしたりしてみませんか？

## 子どもを守るために知ってほしいこと

子どもが被害者となる犯罪の現状を皆さんに知ってもらうため、矢板警察署生活安全課の渡辺課長にお話を伺いました。

Q. 子どもが被害に遭いやすい犯罪には、どのようなものがありますか？

A. 大きなものに「誘拐」「わいせつ」「暴行・恐喝」などがあります。特に不審者による子どもへの犯罪は、全国的に発生しているのでニュースなどで頻繁に報道されています。警察署では、登下校中のパトロール強化など、子どもたちの安全対策に力を入れています。すべての地域をカバーしきれないのが現状です。家庭や学校での防犯教育や、地域での見守り活動など皆さんの協力が必要不可欠です。

Q. 狙われやすい時間帯や場所はありますか？

A. 全国の県警などがまとめた不審者情報や声かけ事案の統計を見ると、登下校の時間帯に多く発生しています。中でも特に、夕方の時間帯（15：00～17：00）での被害が多くなっています。また、1人で行動している子どもが狙われやすいので、複数で行動させるように心がけてください。場所については、見通しが悪く、ひと気が少ないなど、住宅街でも死角が多いところでは被害に遭いやすい傾向があります。そのため、子どもと一緒に家の周りを見て、死角になる場所や危ない場所を確認しておくことも大切です。また、子どもに防犯意識を持たせるためには、身近なところにも危険があること、もし危険を感じたら「子ども 110 番の家」に避難することなども教えてあげてください。



### 保護者や地域の方に覚えてもらいたい防犯4カ条

- |                            |                                  |
|----------------------------|----------------------------------|
| 1 子どもが被害者になる犯罪について知りましょう   | 3 加害者の行動パターンを把握しましょう             |
| 2 被害に遭いやすい場面を想定し、対策をとりましょう | 4 子どもの防犯意識が高まるよう普段の生活から、工夫をしましょう |

## ～地域の方へ～「ながら見守り」への協力をお願いします

「ながら見守り」とは、大人の方が普段の生活の中で、何かをしながら防犯や交通事故防止などの視点を持って地域ぐるみで子どもたちを見守る活動です。下記以外にも地域の方のアイデア次第でさまざまな「ながら見守り」が生まれます。「できる人が できる時に できることを」をモットーに地域での防犯活動で子どもたちの安全と笑顔を守りましょう。

例えば…

仕事をしながら  
見かけない人がウロウロしている… 不審な車が停まっているなあ…

花の水やりをしながら  
散歩・ウォーキングをしながら  
怪しい人が子どもに声をかけている…

買い物に出かけながら

緊急時には、110番通報を！

活動の中で気づいたことがあれば、警察署までご連絡ください。  
矢板警察署 ☎ (43) 0110

## 子どもを見守る大人たち

市内には地域の子もたちが安全に家に帰れるよう見守りを行っている「スクールガード」として活躍している3人の方がいます。その活動に携わり来年度で10年になる佐山 公康さんにお話を伺いました。



### スクールガードとは

子どもたちが下校をする時間帯に見守り活動を行うボランティアです。各中学校区に1人ずついて、週に2回程度、約2時間活動をしています。私は矢板中学校区を担当しており、4つの小学校に通う子どもたちの通学路を車でパトロールしています。パトロール以外にも、抑止力にもなるのでステッカーは貼ったまま出掛けており、常に周りを見て、普段と変わったことがないか注意して観察しています。

### はじめたきっかけ

平成16年に、退職を機会に矢板市に移住してきました。時間にも余裕があったため、何か地域のために活動したいと思い、泉小学校で行われていた「ふれあいスクール」での見守りボランティアに参加しました。そのことがきっかけで市の担当者の方から子どもたちの下校を見守る「スクールガード」として活動してくれないかと依頼を受け、活動をするようになりました。スクールガードやその他の活動の中で、

子どもたちから感謝の言葉を聞いたときや子どもたちの成長を見届けられることはとても貴重な経験です。自分を必要としてくれている点や、活躍できる場所があることもうれしく、それが気力や体力の維持にもつながっていると思います。

### 心がけていること

パトロールをする時は、人目につかない脇道などを重点的に行っています。私は交通指導員ではありませんが、中学生の自転車の乗り方などについても注意喚起の声かけをし、ルールを守るよう促しています。また、普段見かけない車の路上駐車を見かけたときは、警察に相談するようにもっていて、子どもたちの安全を守るだけでなく地域全体の安全も守れるよう心がけて活動をしています。

### これからの地域に期待すること

ボランティアとして活動している3人の年齢が70歳を超え、高齢化が進んでいることや、後継者がいないことが気になります。このようなボランティア活動に参加してくれる人が増えることで、どの小学校区でも毎日見守りを行えるようになることが理想ですね。ですが、地域の方それぞれに生活があり難しいことだと思いますので、地域の子もたちと関わる機会を増やし、家の近くで見守るなど、日常生活の中で少しの時間でも活動できる「ながら見守り」が広まってくれればと思っています。

## ～保護者の方へ～お子さんと一緒に防犯について考えましょう

子どもが被害に遭う犯罪は、いつでもどこで起こるかわかりません。しかし、大切なのは「狙われない」ように子どもたちが防犯に対する意識を高めることです。大人にとっては当たり前の内容かもしれませんが「気をつけてね」と声をかけるだけでなく具体的な内容を子どもたちに教えましょう。また、お子さんに教える際は「繰り返し」が大切です。進級時、春休みなどの長期休みの前に再度確認し、必要に応じてルールや情報を更新しましょう。

### 一 家族でルールをつくりましょう

#### ◆1人にならない、1人で遊ばない

1人で行動すると誰にも見えない時間が発生します。登下校や外で遊ぶときは友だちと行動したり、人がたくさんいる場所で遊ぶように教えましょう。どうしても1人で行動しなければならないときは、人通りの多い道を歩き、防犯ブザーを持ち歩くなどの対策を考えましょう。

#### ◆助けを求める

何かあったら大声で助けを求めましょう。危険な目に遭うと恐怖心で声が出ず、助けを呼べないことも考えられます。もしものときのために、子どもと一緒に大きな声の出し方や防犯ブザーの使い方を練習しましょう。防犯ブザーを持っていることに安心せず、使い方を理解し、いざというときに使えるように備えましょう。

#### ◆外出をするときは「行き先」を伝える

外出時には必ず家族に伝えてから出かけることを徹底しましょう。



#### 《定期的に点検を行いましょう》



### 一 親子で一緒に確認しましょう

#### ◆逃げ込める場所は？危険な場所は？

子どもと一緒に通学路や近所を歩き、いざというときに逃げ込める「子ども110番の家」やお店などの場所、助けの求め方を確認しておきましょう。また、危険な場所や人目につきにくい場所も確認し、近づかない、子どもだけでは行かないことを約束させましょう。子どもと一緒に防犯マップを作るのも効果的です。



#### ◆巧妙な声かけへの対応は？

不審者が子どもに声をかける口実はさまざま、気を許してしまう言葉で近づいてきます。知らない人に声をかけられたら、どのような内容でも警戒が必要です。きっぱりと断り、すぐにその場から離れるよう教えましょう。



#### ◆シミュレーションをしてみましょう

一方的に教えるのではなく、日常生活の中で危険性がある場所に行ったときに「こんなときはどうする？」と尋ね、子ども自身が考え防犯に対する意識を高められるようにしましょう。また、寸劇やゲーム方式などを取り入れて興味を持たせることも有効です。

#### ◆コミュニケーションをとりましょう

危険な目にあったら、小さなことでも必ず家族に報告するように習慣づけましょう。子どもが何でも話せるよう日頃から家族間でコミュニケーションをとることが大切です。また、地域でも、保護者の方が積極的にあいさつなどを行い顔見知りを増やしましょう。「知っている人」を増やすことが子どもの安全にもつながります。

### 一 あわせて確認しましょう



#### ルリちゃん安全メール

栃木県警では、市民の方が安心・安全な生活を送るために参考にしていただきたい情報をメールで配信しています。子どもを犯罪から守るための情報、そのほか防犯情報や交通安全情報など、お住まいの地域（警察署）ごとにお届けしていますので、ぜひ登録ください。

情報を  
入手しましょう



詳しくはこちら



## 「イカのおすし」を覚えよう!

**イカ** 行かない

知らない人について行かない

**の** 乗らない

知らない人の車に乗らない

**お** 大声を出す

「助けて!!」と大声を出す

**す** すぐ逃げる

大人のいるところにすぐ逃げる

**し** 知らせる

大人に何があったか知らせる